

# 開発途上国の理科教育

大阪女学院大学 前田 美子 (1985年化学科卒業)



◀ 授業中の筆者「原子の構造は…」

「このドラマはフィクションであり、実在の人物・団体等とは一切関係がありません」という断り書きのないドラマを、毎日とてつもない大画面で見えています」

私はケニアから日本の生徒に送った手紙にこう書きました。大学を卒業後、神戸市内の中高一貫教育の学校に就職しました。8年後、青年海外協力隊員としてケニアの農村部にある、ニャホビ中学校に理科教師として派遣されました。協力隊に応募したのは、高いボランティア精神があったからでも、国際協力に強い興味があったからでもありません。日本の教壇に立つことに飽き、「普通でない」ことを見てみたい、やってみみたいという、何

## 二

とも不真面目な動機でした。

ニャホビ中学校は、その貧しさという点において、典型的な途上国の学校とってよいかもしれません。公立校ですが、政府からの予算援助はほとんどなく、徴収した授業料で学校は運営されていました。電気も水道もなく、教具・教材の不足は深刻な問題でした。大部分の生徒は教科書をもっていない。どの授業でも、教員が教科書の記述を読み上げるか、黒板に写し、それを生徒がノートに書くという授業スタイルが普通でした。しかし、学校はチョークを買うお金さえ捻出できず、一方の生徒もノート・ペンを買うお金がないことも珍しくありませんでした。



◀ 学校周辺の風景

理科授業に必要な、実験器具・薬品も不足していました。多くのケニアの教員・子どもにとって、実験・観察は、教科書の単なる記述であって、実際に経験できないものでした。それでも、まだ、こうして学校で学ぶことができる子どもは恵まれているほうです。貧しい家庭の子どもが多くが、中学校に入学する機会さえ与えられず、また、入学しても授業料を払えず退学してしまいました。

## こ

こいう現状を見ると、何とかしなくてはという使命感のようなものが自然とわいてきます。ケニアから帰国後、復職しましたが2年後には退職していました。その後、現在に至るまで、研究者として、また、実践者として途上国の教育支援に本格的にかかわっています。ロンドン大学、大阪大学、香港大学の大学院で研究生を送りながら、JICA（国際協力機構）の教育専門家として、ウガンダ、カンボジアで働きました。4年間勤めたカンボジアは、内戦で、学校施設のみならず、多数の教員を失っていました。理科教員を養成するための教材作成やカリキュラム開発が、私の仕事でした。私が日本で経験した“普通の”学校生活を、途上国の人たちが手に入れるには、途方もない時間と努力が必要であることを痛感しました。

講演では、開発途上国の理科教育が抱える課題と、それに取り組む日本の支援について紹介します。私の国際協力の現場での経験が、単なる「ドラマ」ではなかったことを、皆様にお伝えできれば幸いです。



▶ 宿題やってきましたか？

社会やすべての人々に対し、情報システム・サービスを通じ、安心、安全、感動を与えられる企業になります。

**HitachiSoft**

創る、支える、拓く

事業内容

システム開発

- 大規模基幹業務システム開発
- 組み込みシステム開発

サービス

- 「必要とされる機能を必要なときに必要なだけ」各種サービスをお届け

プロダクト & パッケージ

「モノづくりの日立ソフト」の強みを発揮し、製品を提供

日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社

本社 〒140-0002 東京都品川区東品川4-12-7 TEL (03) 5780-2111  
http://hitachisoft.jp

講師紹介

前田 美子(まえだ みつこ)さん プロフィール

大阪女学院大学准教授、教育開発・開発教育。関西学院大学理学部化学科卒業(1985年)、ロンドン大学教育研究所修士課程修了(MA)、大阪大学大学院人間科学研究科博士前期課程修了(修士)、香港大学教育学部博士課程修了(Ph.D)。松蔭中学校・高等学校教諭、青年海外協力隊員(ケニア・理科教師)、JICA派遣専門家(ウガンダ・教育計画、カンボジア・理科教育)を経て2007年より現職。